

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 July



KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/
テクニカルディレクター挨拶
- ・7月の日程/8月の予定
- ・各セクションの活動報告
- ・スポンサー様一覧
- ・連絡先



KOGAKUIN RACING TEAM



チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今月は、いよいよ大会が目前に迫り、チーム全体の士気がこれまで以上に高まりを見せた一ヶ月となりました。その熱意が特に表れていたのが、今月参加した2回の試走会で。事前準備の段階からメンバー間で綿密に連携し、チームがより一層、一体となって取り組むことができました。本番を見据えた実りある試走を実施できただけでなく、チームとしての結束力も一段と強固なものになっております。

また、静的審査に向けた準備も着実に進めており、7月30日にはコスト審査の追補およびリアルケースシナリオの提出を無事に完了いたしました。これにより、動的・静的ともに大会本番へ向けた要件を一つ一つ確実にクリアし、歩を進めることができました。

いよいよこれまでの集大成となる大会本番を迎えます。高まった士気とチームワークを最大限に発揮し、応援してくださる皆様に良いご報告ができるよう、メンバー一同全力で参戦してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

梅雨が明け、本格的な夏を迎える中、いよいよ学生フォーミュラ日本大会が目前に迫ってまいりました。メンバー一同、万全の状態で大会に臨めるよう、最後の調整を行っています。

7月4、5日には日本自動車研究所様のテストコースをお借りして開催された試走会に参加し、エンデュランスに向けたセカンドドライバーの走行練習を中心に行いました。ドライバーの習熟を図るとともに、車両データの収集を行い、大会本番を見据えたセットアップを進めました。

また、7月11日にはクロスロード小山様のご協力のもと、ダイナパックによるパワーチェックを実施しました。吸気・排気部品の変更がエンジン出力特性に与える影響を確認し、より良い性能を引き出すための評価を行いました。

さらに、7月19日には日本大学理工学部陣会様主催の試走にも参加し、エアロパーツの実測試験や騒音試験を行いました。設計段階で狙った性能を実車で検証するとともに、大会車検に向けた重要な確認を行うことができました。

走行試験と並行して、チーム内車検や騒音対策など大会本番を見据えた準備を全員で進め、リアルケースシナリオをはじめとする静的審査の提出書類についても、すべて期限内に提出を完了いたしました。

いよいよ迎える学生フォーミュラ日本大会では、これまでご支援いただいたスポンサー企業の皆様、大学関係者の皆様、そして応援してくださる皆様への感謝の気持ちを胸に、チーム一丸となって全力で挑戦してまいります。引き続き、工学院レーシングチームへの温かいご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。



7月の日程、8月の予定

2026年7月

	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日
パワトレ	エキマニ塗装			JARI試走		試験準備	試走反省会
足周り	試走前準備			JARI試走		A-arm塗装	試走反省会
シャシ	ペダル製作	ワイヤー放電	組付け	JARI試走		スタイロ準備	試走反省会
エアロ	FW製作			JARI試走		アンバネ修繕	試走反省会
	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日
パワトレ	試験準備		車両積み込み	シャシダイナモメータ		試験結果分析	
足周り	カーボンロッド試験		車両積み込み	シャシダイナモメータ		予備、破損パーツ製作	
シャシ	ドライバーシート製作		車両積み込み	シャシダイナモメータ		ドライバーシート製作	
エアロ	アンバネ修繕		車両積み込み	シャシダイナモメータ		エアロ試験用パーツ製作	
	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日
パワトレ	パーツ組み付け		試走前準備	日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会	
足周り	パーツ組み付け		試走前準備	日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会	
シャシ	パーツ組み付け		試走前準備	日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会	
エアロ	パーツ組み付け		試走前準備	日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会	
	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日
パワトレ	大会前準備					車両組み付け	
足周り	交換用予備パーツ製作					車両組み付け	
シャシ	大会前準備					車両組み付け	
エアロ	大会前準備					車両組み付け	
	7月29日	7月30日	7月31日				
パワトレ	車両最終確認		車両積み込み				
足周り	車両最終確認		車両積み込み				
シャシ	車両最終確認		車両積み込み				
エアロ	車両最終確認		車両積み込み				

2026年8月

	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日
パワトレ	車両積み込み	学生フォーミュラ日本大会					
足周り	車両積み込み	学生フォーミュラ日本大会					
シャシ	車両積み込み	学生フォーミュラ日本大会					
エアロ	車両積み込み	学生フォーミュラ日本大会					
	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日
パワトレ	車両積み下ろし	新入生配属決め・各管理職決め					
足周り	車両積み下ろし	新入生配属決め・各管理職決め					
シャシ	車両積み下ろし	新入生配属決め・各管理職決め					
エアロ	車両積み下ろし	新入生配属決め・各管理職決め					
	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日
パワトレ				引継ぎ、大会結果分析			
足周り				引継ぎ、大会結果分析			
シャシ				引継ぎ、大会結果分析			
エアロ				引継ぎ、大会結果分析			
	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日
パワトレ	設計パーツ担当決め			27年度車両開発開始			
足周り	設計パーツ担当決め			27年度車両開発開始			
シャシ	設計パーツ担当決め			27年度車両開発開始			
エアロ	設計パーツ担当決め			27年度車両開発開始			
	8月29日	8月30日	8月31日				
パワトレ	27年度車両開発開始						
足周り	27年度車両開発開始						
シャシ	27年度車両開発開始						
エアロ	27年度車両開発開始						



各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 3年 朝日大介



7月のパワートレイン班は、大会に向けた専用パーツの準備とデータの実測を行いました。
先月、トラブルの洗い出しを行いましたエキゾーストマニホールドにつきまして、今月度は断熱塗装を株式会社三陽様に施工していただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。昨シーズンはエキゾーストマニホールドと燃料タンクのクリアランス確保に苦戦いたしました。しかし今年のマシンでは、両者のクリアランスを拡大するとともに、新たな断熱塗装を施すことで、より高い断熱性能を確保することができました。



Fig.1 断熱塗装していただいたエキゾーストマニホールド





また、大会用エキゾーストマニホールドの準備が整ったため、ダイナパックにて今年度のマシンの出力を測定いたしました。

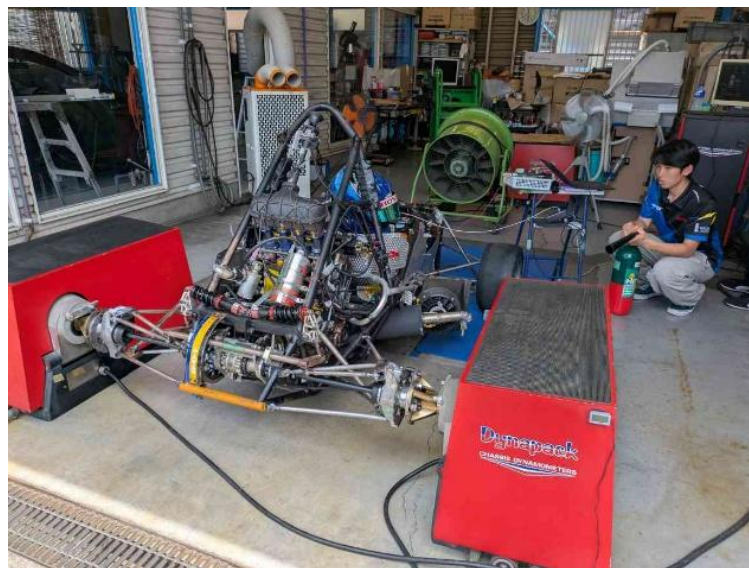


Fig.2 出力測定時の様子

主な試験内容として、吸気管の長さおよび排気・マフラーエンドの仕様変更に伴う出力特性の変化を測定いたしました。この実測データは、現状の解析精度の検証や、来シーズンに向けた開発の重要な指標となりました。

7月19日に開催された日本大学理工学部陣会様主催の試走会には、新調した燃料タンクを搭載して臨みました。今シーズンの試走会は比較的気温の低い日が多く、これまで冷却性能の本格的な検証ができておりませんでした。しかし、今回の試走会では最高気温が33.1℃まで上昇したため、大会本番を想定した環境下での水温変化を確認することができました。

結果として、水温は約89℃で安定いたしました。これは、冷却ラインの抵抗を低減し、ラジエーターへの冷却水流量を増加させたことが要因と考えられます。

いよいよ大会本番まで残り僅かとなりました。今年度の成果を皆様にしっかりとご報告できるよう、チーム一丸となって最後まで尽力してまいります。大会までの残り期間、そして大会期間中につきましても、引き続き温かいご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 3年 高橋真育



7月4、5日には日本自動車研究所様のテストコースをお借りして開催された試走会に参加いたしました。その際、フロントスプリングのバネレートにおいて、事前の記録と実際の仕様に相違があることが発覚したため、直ちに本来の設計通りのスプリングへと変更する対応を行いました。より柔らかいスプリングへ変更した影響でオーバーステア傾向が見られましたが、トー角の調整を行うことで適切に改善しております。また、先月のモビリティリゾートもてぎでの試走にてセカンドドライバーが決定したため、本試走では同ドライバーの習熟走行も併せて実施いたしました。

7月18日には、日本大学理工学部様の交通総合試験路をお借りして試走を実施いたしました。こちらはエアロパーツの試験を主目的としたものでしたが、足回りにおきましてもアクセラレーション競技に向けたセッティングの最適化を行いました。キャンバー角とトー角を 0° に設定して計測を行った結果、4.15秒というタイムを記録しております。これは、昨年度大会のICV車両における6位に相当する好記録であり、確かな手応えを感じております。



Fig.3 アクセラレーション走行の様子





予備パーツにつきましては、サスペンションアームおよびロッド類を新たに 1 セット分製作いたしました。現在搭載しているパーツも万全を期しておりますが、大会本番で万が一破損が生じた場合にも、迅速に対応できるバックアップ体制を整えております。また、ハブとブレーキディスクを締結するフローターピンにわずかなガタつきを確認したため、未然にトラブルを防ぐべくこちらも新規製作を行いました。



Fig.4 再製作したフローターピン

日本大会まで残りわずかとなりましたが、日頃よりご支援いただいている皆様のご期待に確実に応えできるよう、足回り班一同、誠心誠意取り組んでまいります。



シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 3 年 結解和宏



今月度シャシ班は、大会に向けたパーツのブラッシュアップやエビデンス資料の作成、および新規パーツの製作を中心に活動いたしました。

■ ステアリング

ステアリング関連では、ピニオンギアをワイヤー放電加工により再製作いたしました。その結果、以前よりもはめあいをタイトに仕上げることができ、ステアリングのガタつき低減が見込めます。なお、7 月 19 日に実施された日本大学理工学部様主催の試走会での搭載には間に合いませんでしたが、大会本番には万全の状態で投入いたします。



Fig.5 加工したピニオンギア



■ アクセルペダルの再製作

ペダル関連につきましては、アクセルペダルの再設計および再製作を行いました。こちらは7月19日の試走会にて実車に搭載し、テストを実施いたしました。ドライバー陣からも良好なフィーリングを得られており、大会本番でも搭載する予定です。

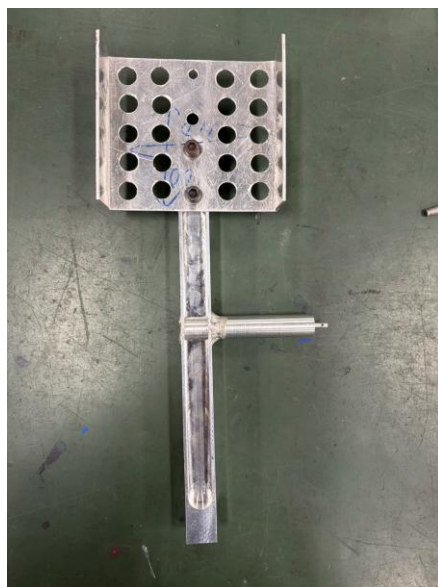


Fig.6 再製作したアクセルペダル

■ その他のパーツ

その他、大会車検に対応するためのステーの追加、ドライバーシートの製作、IA（インパクトアッテネーター）の接着、およびシフターの再製作を行いました。新たに製作したドライバーシートは試走会にて実戦投入し、ドライバー陣から非常に高い評価を得ることができました。また、シフターに関しましては、これまでの試走によって生じたわずかな変形を考慮し、万全を期すため大会用に再製作を行いました。



エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 3年 菊地祐汰



7月の活動におきましては、日本大学理工学部様の交通総合試験路をお借りし、車両の空気抵抗および冷却性能に関する実測を行いました。空気抵抗の試験では、直線を80km/hで走行中にクラッチを切り、速度の減衰を計測することで空気抵抗値を算出いたしました。また、冷却に関する試験では、ピトー管を用いてラジエーター周辺の流速を測定しております。

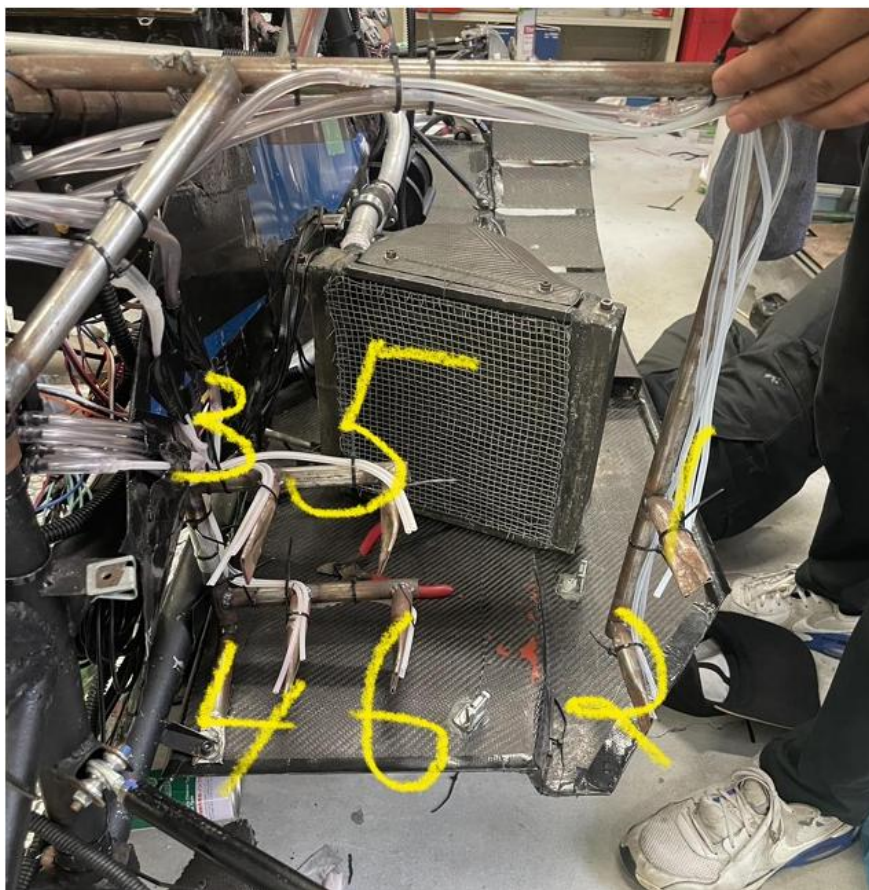


Fig.7 ピトー管配置



これにより、ラジエーターへ十分な空気が流入しているかを確認するとともに、流体解析結果との比較検証を行う予定です。今回計測したデータは大会本番のデザイン審査において大いに活用し、過去最高点の獲得を目指してまいります。

また今月は、チーム初となるオートクレーブ成形を用いたカウルの製作をスポンサー様にご支援いただきました。急なお願いにもかかわらず、迅速にご対応いただきました東レ・カーボンマジック株式会社様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



Fig.8 製作していただいたカウル

さらに、大会の1週間前にはチーム内車検を実施し、本番の車検を確実に通過できるよう、不足している箇所の最終確認を行いました。不適合箇所を徹底的に洗い出して修正を行い、万全の状態で大会を迎える準備を整えております。

Tools by Sanjo Niigata



工学院大学校友会 工学院大学機械系同窓会 工学院大学学生フォーミュラ OB 会

工学院大学 自動制御研究室



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 3 年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17 号館 1 階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

X: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

